

第2回八幡地域協議会会議録（概要）

日 時 平成18年1月19日（木曜日）午後1時00分～午後3時15分

場 所 酒田市一條公民館大ホール

出席者

1号委員 安藤浩夫 佐藤ひとみ 遠田清之 小野明美 加藤智子

2号委員 大瀧雅士 村上三喜郎 荒生 豊 佐藤貞夫 後藤純子 高橋知美

3号委員 田村和徳 後藤 泉 池田善幸

八幡総合支所支所長 三柏憲生 産業課長 畠山修 教育振興室長 松田文夫

地域振興課地域振興主査 佐藤 弥

企画調整部企画調整課地域振興室地域振興室主査 後藤重明

議事日程

1 開 会

2 支所長あいさつ

3 会議録署名委員の指名

4 協 議

(1) 旧酒田市のコミュニティ組織の現状について

(2) 地域課題について（意見交換）

5 閉 会

1 開会 … 会長である後藤純子議長

ただ今より、第2回八幡地域協議会を開催します。本日の会議内容は、資料のとおり、旧酒田市のコミュニティ組織の勉強会と地域課題についての検討となっています。地域課題については、第1回目に出されました意見の中から、選挙ポスター掲示場、看板設置について、共用林野のことについて中心に話し合いたいと思います。終了予定時刻は3時です。皆さんお一人お一人の活発なご意見を頂戴して進めたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

次第の2として、三柏支所長よりご挨拶をいただきます。

2 支所長あいさつ … 三柏支所長

大雪になり、雪害も出ています。第2回の地域協議会をこの会場、一條公民館にしたのは大勢の人から傍聴参加してほしいとの願いと、昨年10月30日に竣工した新しい施設を皆さんから見ていただきたいことがあります。今後におきまして、できるだけ皆さんの声を届ける。また、すぐできないことについても、進行管理を行っていきたいと思っております。

3 会議録署名委員の指名

会議録署名委員の指名ですが、名簿2番委員の佐藤ひとみ委員を指名します。

4 協 議

(1) 旧酒田市のコミュニティ組織の現状について

(2) 地域課題について（意見交換）

○議 長 続いて協議に入ります。旧酒田市のコミュニティ組織の現状について、事務局より説明をいただきます。

○事務局 資料1から6まで準備した。主に、資料No.5の自治会活動とコミュニティ振興会活動について、酒田市の制度と東禅寺コミュニティ振興会の山川さんから聞き取りしたことについて説明した。

○議 長 委員の皆さんから質問、意見をいただきたい。

○委 員 コミュニティ振興会があり、公民館があると、私たちの区はどこに合併したらいいのか、どこで活動したらいいのか迷ってしまう。アドバイスを受けながら加盟していかなければならないのかなと感じた。

○委 員 資料を見せていただいた。コミュニティ活動もあり、公民館活動もある。私の区も、組織としてはできていないが、地区公民館を中心に、老人クラブからすべてのもの、年間活動されている。区長会でも公民館活動へ協力をしている。中身としては、身の回りのことを中心に同様のことを行ってきた。ただ感じたことの一つに、市民は、あまりにたくさんさんの事業があって、仕事をしながら受入れるのは、大変なのかなと感じているのではないか。

○委 員 八幡の場合、コミュニティという言葉に慣れていないので、分かりづらいところ

があるが、内容を見ると公民館で行っていること、区長会で行っていることそれぞれあり、同じような事業を行っている。どのように統一されるのか、公民館活動がどのように進んでいくのか心配である。

- 議長 市街地と公民館地区がある。それに3町の取り組みがあるということですね。
- 事務局 資料No.5 - 1の自治会組織の1市3町の相違点について説明した。
- 委員 合併により、自治会連合会の組織に入るとされているのか。そりはどこまで進んでいるのか。
- 事務局 現在、統一に向けた具体的動きは、担当課であるまちづくり推進課でもしていない。いま、市町村合併されたことを機会に統一を図りたいという考えが、酒田市自治会連合会にはあるということである。
- 委員 山間地域と違い市街地は人間がいっぱいいる。区長は交代でやっと役をお願いしている。その組織づくりを見直してもらいたい。早速やってもらいたい。議論で終わるのは意味がない。
- 委員 花いっぱい運動は、10年以上経ちマンネリ化してきている。しかし、他の地域の人から見ると、よくやっていると感じるところである。公民館事業でも、マンネリ化、惰性で事業をしていないか。新風を吹き込む必要がある。旧酒田市の制度に謙虚に向き合い、より良いものを探っていけばいい。
- 議長 行政は自治会にタッチしない。区長会長報酬4千円では、新年会でなくなるそうである。
- 委員 報酬がほしくて区長をやっている人はいないと思う。区長の報酬は年間いくらか。区長の仕事が大変だから、市条一区でも選出に苦勞している。補助金を削減するのが目的でないか。
- 事務局 区長は区から選出され、区長となる。区の仕事をするほかに、非常勤特別職として町の業務の一部を肩代わりしている。18年度から制度を変えるのは、広報を配布していた分を別にするというもので、その分の委託契約を結ぶ。その分区長の世帯割の報酬が一世帯510円減額されることになる。これからは市役所の区長としての仕事は減るのではないか。
- 委員 酒田市すら一つの制度に統一できないのに、合併を機に3町が加わりまとめようとしていることを議論することはできないのではないか。
- 事務局 酒田市市街地の自治会長は市から報酬をもらっていない。公民館地区はわずかであるがもらっている。3町は役場の仕事を肩代わりしてきた部分もあって、特別職として報酬をもらってきた。しかし、合併により同じ仕事をお願いすることになるのだから、報酬が違うのは好ましいことでない。
- 委員 私は原点に戻るべきだと思う。住民がいるから、行政の連絡員として必要だったろうし、地域にとっても必要な存在だった。自然に立ち上がったものでないか。酒田市内にも何年か住んだことがあるが、酒田では区費を払わない人はいっぱいたし、側溝掃除に出ない人もいた。
- 事務局 自治会費を払わない人もいますが、街灯や公園、ゴミ置き場など公共的受益として半額をいただいている自治会もある。

- 委員 酒田市の中に2制度があること、報酬ある所とない所があることが変である。良い悪いは言えないが、是正し同様な形で行っていくべきである。
- 議長 それでは自治会連合会の話はこれで終わりとします。次に地域課題について協議します。協議会全体の意見として提言していきたいと思しますので、広く深く発言していただきたいと思います。前回の話し合いの中で、ポスター掲示場が多すぎるのではないかと話が出たがこの件はどのようなになったか。
- 事務局 旧八幡町では、いつでも目に触れるところとして95箇所に設置している。しかし、相当の年月が経過している。車社会にもなった。それらを受けて、見直す時期に差しかかっていると思う。4年後の選挙に向けて、選挙管理委員会で協議することになる。
- 議長 共用林野については、旧酒田市内の人は入山料を払わなくてもいいことになり、山の管理の経費が出ないとあった。これについてはどうか。
- 事務局 共用林野運営委員会がなくなることで、「山の安全について責任を持てない。」「山が荒れている。行政の責任になりますよ。」ということであった。意見を真摯に受け止め、市議会協議会で発言してきし、18年度予算として要望もした。
- 委員 話をしただけのことはあった。
- 議長 前進したと思えます。皆さん日頃考えていることをお話していただくようお願いいたします。
- 委員 花いっぱい運動のことで、法連寺大島田間に多年草を植えたが、管理悪いところが目立つ。3町の地域づくり予算を見たところ、ほかに比べ八幡の予算が少なく、取り組みが甘いと考える。
- 事務局 国民体育大会のときに、地域の盛り上がりでボランティア参加者により行ってきたが、最近では役場の職員で行っている状態になった。一昨年多年草を植えたが、雑草と区別つかなくなった。そこで業者による管理をと、予算措置させていただいた。松山、平田は業者が行っているため予算額が多くなる。それが良いのかは、評価が分かれるところであろう。
- 委員 法連寺大島田間は、片側だけやってもいいのでは。続けることは難しいが、皆がかかわりを持ち、やり方を工夫してやることで、続けていけると思う。業者を頼んでやるのでは意味がない。
- 委員 私も何年かやらせていただいたが、マンネリ化しているのだろう。植えっぱなしの人もいるので、やる気がなくなることもある。統一したやり方が良いと思う。
- 事務局 松山、平田は、苗を農協から買うため単価が高くなる。ボランティアということからすると、八幡のほうが尊い。また、都市計画課とまちづくり推進課が行う、緑化・美化ボランティア支援制度も種から育てるものである。平田・松山では花いっぱい運動を、この制度によるものにすぐに転換できないとしている。
- 委員 花いっぱい運動で植えられている花は外来種、園芸種のものばかり。どこに行っても皆同じだ。自生種や山形の花を植えてはどうか。地域の花なら、その土地に強く花が咲くし、余計な手間やお金もかからないのではないか。それがあるというだけで観光の目玉になる。
- 委員 田の脇の国道の法面を刈り払うのは、農家の人。それが当然のことと認識してい

る。法面をきれいにするだけでどんな花でも美しく見える。話がもどるが、コミュニティ振興会、公民館活動など、説明する機会が必要ではないか。

○委員 学校再編が出てくると思う。日向、大沢小学校は複式学級であり、酒田市としては複式学級を認めていない。中学校の再編も高校の再編より早く進む。地域に学校がなくなるとが問題になると思う。再編の指針、方向性はいつ出されるのか。

また、合併によってぐるっとバスの小中学生の乗車が有料になった。スポ少、部活動で使う機会が多いと思う。町PTA連合会として、松山、平田PTAと要望書を出したいと話をしている。酒田市街地と立地条件が違うことを、酒田市で分かってほしい。

○議長 学区の改編についてとぐるっとバスについての話が出ました。このことについて事務局どうでしょうか。

○事務局 部活動でぐるっとバスをスクールバスとして利用することについては、校長会、教頭会の理解を得ている。しかし、ぐるっとバスの運転手が、土日の部活動している子どもか、遊びで乗る子供か顔を見て判別できない、ということで有料ということになる。学区改編は、近々の課題として出ている。五中は一中と統合することについて座談会に入っており、ある程度理解は得ているようである。今問題になっているのは、本楯地区、鳥海中である。私としては、八幡中学校はなくしてもらっては困るということで、各教育委員の方に話をしている。八幡中学校の再編についても18年度の教育委員会で話し合われることになるだろう。

5 閉 会

○議長 今回は全員から発言をしていただきました。予定の時間になりましたので、本日は終わりにします。次回は2月の中ごろを目処に行いたいが。(日程を協議)

○委員 2時間では話足りない。もっと時間をとるようにしてほしい。

○委員 会議は全員が一度話したからいいというものではない。また、テーマに沿った話し合いにしないと集中した議論ができない。

○議長 第3回の会議は、2月14日、火曜日、午後1時から話が終わるまで行います。議題は、「18年度予算要求の概要」と「学区統合について」を主な議題とします。それでは本日はこれで閉会します。